

COVID-19

職場の健康と安全性: 従業員の手引き

職場の健康と安全性に関する法規制に基づき、雇用主は職場の従業員やその他の人に対して健康と安全性を確保する注意義務を負っています。

従業員の責務

従業員は、自身の健康と安全性に合理的な注意義務を負い、他者の健康と安全性を損なわないようにふるまわなければなりません。

従業員は、雇用主が COVID-19 対策として定める合理的な方針や指示に従わなければなりません。これは、社外勤務(たとえば在宅勤務等)の場合でも同じです。

雇用主の責務

雇用主は、COVID-19(コロナウイルス)との接触に関する職場健康安全性リスクを特定し、できる限り適切な対策を実施しなければなりません。雇用主は、適切な**対人距離確保 (physical distancing)** (職場における対人距離 1.5m 以上を確保すること)を含む政府の指示に従わなければなりません。

COVID-19 ウイルスのリスクは、身体的のみならず精神的なリスクであることもあります。

雇用主が COVID-19 ウイルスとの接触に関わるリスクに対して立てられる方策は、職場や職種によって異なります。雇用主は計画している対策について従業員と協議することになっています。

考えられる方策には、以下のようなものがあります。

- 職場における人と人との接触を避け、1.5m の対人距離を確保するための対策を講じる。
- 職場にいる人が石鹸と流水で 20 秒間以上手洗いを励行したり、アルコールベースの消毒液を使ったりして**正しい衛生行動 (good hygiene)**を取れるように環境を整備し、奨励する。
- 個人用衛生用品を使えるようにする。
- 職場の清掃を徹底する。
- 従業員以外の人の職場立ち入りを制限する。
- 従業員に社外勤務(たとえば在宅勤務等)を指示 — ただしそれにより職場健康安全性リスクが変化したり悪化したり、あるいは新たなリスクが生まれたりする可能性があることを考慮する。

COVID-19 に感染したかな、と思ったら

以下の行動を取ってください:

- **医療機関の診察を受ける (seek medical advice)。**
- 出勤はしない。
- できるだけ早く雇用主に知らせ、状況が変わったら(たとえばウイルス感染が確認された等)連絡する。

安全でないと思ったら仕事を中断することができますか？

職場の安全性に疑問を感じたら、雇用主あるいは健康安全性代表者(HSR)に相談してください。

特定の状況下では、従業員に就労や危険な作業の遂行を拒否する権利があります。従業員は、自身の健康や安全性に対する現存ないし切迫する危険(COVID-19 ウイルスとの接触を含む)からの重大なリスクにさらされているという合理的な心配がある場合は、任務を中断、拒否する権利があります。

危険があるために作業を中止した場合は、できるだけ速やかに雇用主に通知しなければなりません。こうした場合には、適当な代替作業(たとえば在宅勤務等)を行わなければなりません。

より詳しい情報

職場健康安全性についてのより詳しい情報は、[Safe Work Australia](#) のウェブサイトをご覧ください。

休暇や賃金についてのより詳しい情報は、[Fair Work Ombudsman](#) のウェブサイトをご覧ください。

保健についてのより詳しい情報は、[health.gov.au](#) のウェブサイトをご覧ください。

モデル WHS 法が、ビクトリア州と西オーストラリア州以外の全ての州・準州において施行されています。お住まいの地域における職場健康安全性(WHS)法制に関する情報は、各州・準州の [WHS 法制所轄省庁 \(WHS regulator in your state or territory\)](#) にお問い合わせください。